

## 二酸化炭素排出実質ゼロを宣言しています

津山市は「二酸化炭素排出実質ゼロ宣言」を岡山県内の13市町で構成する岡山連携中枢都市圏(※)と共同で宣言しました。

近年の地球温暖化に伴う気候変動の影響により、自然災害が増加、激甚化しており、市民の安全安心を守るため、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を実質ゼロとする脱炭素社会の実現を目指す必要があることから宣言しました。

各市町で取組を進めながら、啓発事業や好取組事例の共有等を連携して行います。

※岡山連携中枢都市圏の構成市町・・・岡山市、津山市、玉野市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、早島町、久米南町、美咲町、吉備中央町



令和3年2月2日に各市町の首長が一堂に会して宣言を行いました。今後、この枠組を活用した連携も含め、二酸化炭素排出実質ゼロの実現に向けた取組が進むことが期待されています。

### 議会での声

議員が行った関連のある質問と市からの答弁を紹介します。

#### 問 津山市のエネルギー政策の現状と課題について説明を求める

答 地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入、エネルギーの地産地消を促進する施策などに取り組んでいる。「2050年カーボンニュートラル(※)」を実現するためには、「地域脱炭素」「地方創生」の同時実現が鍵である。今後は地域脱炭素の取組が若者にとって魅力ある仕事や雇用の創出につながっていく仕組みづくりに重点的に取り組んでいく必要がある。

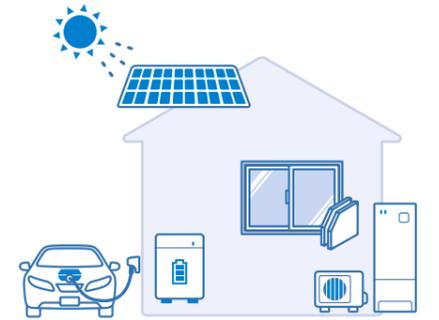


※2050年カーボンニュートラル・・・2050年までに温室効果ガスの排出を、全体として実質ゼロにすることを旨とする政府の宣言

## 環境への配慮、市民からの要望多数 スマートエネルギー導入を応援

コロナ禍における原油価格・物価高騰の市民への影響を抑制し、省エネルギー化を促進するため、太陽熱利用システムや電気自動車等導入経費の助成を行います。

この事業は今年度すでに532万円を予算に計上していましたが、市民の皆さんからの要望が多いことから、事業を拡充するため、この度832万円の増額を行います。



### あなたのエコ活動をお手伝いします

対象機器	機器説明	補助額
太陽熱利用システム	太陽熱を使い温水などを作り、給湯や冷暖房に利用するシステム	購入費用の5分の1 上限5万円
家庭用ヒートポンプ給湯器	空気の熱を利用してお湯を沸かすシステム	購入費用の5分の1 上限5万円
定置用リチウムイオン蓄電池	家庭で作った電気等を蓄電しておくシステム	購入費用の3分の1 上限12万円
窓断熱	内窓・二重サッシにするなど窓の断熱性を高めること	購入費用の3分の1 上限8万円
電気自動車等	ガソリンではなく電気を利用して走る車	購入費用の2分の1 上限15万円



環境に優しく利便性と経済性を備えた超小型電気自動車。手軽な移動手段として注目されています。



太陽光による電気蓄電システム。停電時は夜間や雨天でも日中に充電した電力を使用することができます。



詳細は市ホームページで確認